

株式会社カネタ

溶接に強みを持つ

金属加工会社

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



切粉圧縮機

主な事業内容

製缶・板金、レーザー加工を中心とした金属加工

主な取引先(納入先)

自動車部品メーカー、サニタリー機械メーカーなど

主な製品

機械部品、切粉圧縮機

業務内容 職人の技を継承する「町工場」としての誇り

カネタは、各種タンクや金属容器、製缶などの製缶・板金加工を中心とする金属加工メーカー。主に自動車部品やサニタリー製品など、製造機械部材を扱っている。特に紙おむつ製造機械の大手メーカーとの結びつきが強く、受注は安定している。

創業は昭和46年。佐多はつみ会長のいとこにあたる田袋猛氏が弟とともに、いわゆる「町の鉄工所」を立ち上げたのが始まりだという。兄は設計技術者、弟は溶接技術者で、金属加工業を興すには、これ以上ない組み合わせの二人だったのだ。「職人の技を継承する町工場であることを、私は誇りとしています」と佐多会長は語る。

強み 「多能工化」で「匠」の技をワンストップで提供

同社の強みは、その職人たちの「匠」の技である。レーザー加工、曲げ加工から製缶・板金加工まで、どの職人も同じレベルで仕事ができるよう「多能工化」が進んでいる。NC（数値制御）旋盤などを使った機械加工や電気系の設計施工もこなせるため、ワンストップ

自製品 地球環境に優しいものづくりに注力

サービスが実現。得意先からの信頼は厚い。特に得意としているのは、創業以来の伝統の技である溶接だ。溶接に関する資格は現場の全員が持つっており、資格取得者には手当を出すなどの奨励策の成果である。同社が展開するYAG（イットリウム・アルミニウム・ガーネット）レーザー溶接は、「熱歪み・溶接焼け」がきわめて少ないという特徴を持つ。

佐多会長がカネタに入社したのは、平成16年。それ以前は会計事務所に勤めていた経験を生かし、手形取引を全廃するなど、財務体質強化策を次々打ち出してきた。レーザーのような高価な設備を導入できているのも、健全な経営を行ってきたことが背景にある。

現在、佐多会長が力を入れているのが、自社ブランド製品の販売拡大である。その一つとなる切粉圧縮機は、切粉を投入後、圧縮・脱油・排出までを1台でこなす。そのため、省電力・省スペース化に役立つ製品。搾り取った切削油が再利用できるなど、環境にも優しい。また、今後は工程管理などのIT化にも一段と力を入れる方針だ。

会長あいさつ



代表取締役会長
佐多 はつみさん

創業者の父親は故郷・徳之島で終戦の頃、飛行機の破片などで鍋や鎌を作り、近隣に分けて喜んでもらっていたそうです。私はその思いを「敬天愛人」という社是に込めました。整理・整頓などで社をきれいにする「5S運動」に力を入れ、人を愛し人に愛される会社をめざします。

主な保有設備

- レーザー切断機 (ss 0.5~19t/sus 0.5~12t) アマダ製 2台
- NC旋盤 (LB3000EX) オークマ製 1台
- プレスブレーキ (220t) アマダ製 1台
- シャーリング (ss6tまで) アマダ製 1台
- TIG溶接機 ダイヘン製 11台

大阪03

住 所／〒566-0064 摂津市 鳥飼中2-3-11
T E L／072-654-1637
F A X／072-653-0534
創 業／昭和46年 3 月
設 立／昭和58年10月
資本金／1,000万円
従業員／32名



溶接風景



工程管理のIT化を進めている



<https://kaneta-tekkou.co.jp/>